

# まちづくりの「作法」～現地でまちづくりびとに会う～ 2024年11月11日(月) くにたちはたけんぼの小野淳さん

主催 津島の宝物ひろめ隊



まちは、そのまちに暮らす人やそのまちに関わる人の日々の営みの積み重ねでつくられてきましたし、これからも、つくられていくでしょう。

まちづくりでは、ひと・もの・かね、そして、情報が大切な要素となります。その中でも、ひとは、基礎であり、展開のあらゆる場面において必須の要素です。そして、まちづくりにおいて、ひとに蓄積される財産は、人脈とノウハウです。これらは学習と経験によって蓄積され、知識・技術と思索・思想を伴って発揮されるものです。知識・技術あるいは思索・思想に欠ける見せかけだけの「参加」や「協働」による「まちづくり」ではなく、学習を基礎とした多様な主体の協働によるまちづくりが展開されるためには、知識・技術と思索・思想を伴った「まちづくりびと」が増え、ひととひと、そして、ひととまちの関係づくりが不可欠です。

まちを形づくってきた「まちづくりびと」たち。暮らし方、関わり方は、様々ですが、「まちづくりびと」の一連の活動の経験・技術や思想、その「人」なりのまちづくりの「作法」をテーマに、他所の「まちづくりびと」たちのお話を聴き、話し、考え、動く、そういう「まちづくりびと」が集まる場として、「まちづくりびとと語る場」を始めました。

ところで、「まちづくり」という言葉を使うと、しばしば先進事例の紹介を求める声が上がります。しかし、それは、現地・現物にあたるべきものであり、さらに言えば、実施されて見えている「事」だけではなく、それがどうい背景・どういう経緯で行われたか、そして、どういう人がどうして・どのように担ったかを見るべきもので、その上で、それが自分たちのまちでの取り組みにどう生きるか、と考えるべきものでしょう。知識・技術に思考・思想が伴ってこそ有効なものとなります。

まちには、必ずそこならではの「まちづくりびと」の存在があります。

「まちづくりびと」に会い、現地で感じ、現物を見ることでしか得られないことがきっとあります。

そこで、東京都国立市の「くにたちはたけんぼ」の小野淳さんに会いに行く企画をしました。

実施日 2024年11月11日(月)

行き先 東京都国立市谷保 ※行程など詳細は、参加希望の方へご連絡いたします。

参加費 無料、交通費などは各自負担

問合せ・参加申し込み

参加希望の方は、11月7日(木)までに、住所・氏名・電話番号・メールアドレスをご連絡下さい。

E-mail hitomachi\_tokai@yahoo.co.jp

〒496-0046 津島市柳原町2-40-3 津島の宝物ひろめ隊 代表理事 田宮祥江

「くにたちはたけんぼ」は、NPO 法人くにたち農園の会が運営しています。

NPO 法人くにたち農園の会は、農園の運営を軸に、様々な農体験プログラム

を提供する「農園事業」と、0～12歳児を主に対象とした教育・子育て支援活動を行う「子育て事業」の2つを、地域や行政、他の団体や企業と関わりながら活動を行なっています。農園事業では、「育てる」から「作る」「食べる」までを一貫体験農体験プログラム、コミュニティ農園くにたちはたけんぼ、レンタルスペース畑の家、コミュニティ菜園みんな畑、ゲストハウスここたまや。子育て事業では、認定こども園くにたち富士見台団地風の子、国立市地域子育て支援拠点事業つちのこひろば、森のようちえん谷保のそらっこ、放課後クラブ ニコニコ、リースペースはたけんぼ、旅するがっこう。

その中心にいるのが、小野淳さんです。小野淳さんは、国立市から都市農業に新しい風を吹き込む株式会社農天氣の代表でもあります。



谷保は、「SUUMO 住み続けたい街ランキング 2024 首都圏版」の「家賃が手ごろで満足度が高い 住み続けたい街(駅)ランキング 2024 東京都 市部版」の第1位にランキング。家賃が手ごろで 立川・国立にアクセスしやすく 田園も残る 田舎感にほっこり さまざまな世代が、チャレンジしやすい街！。